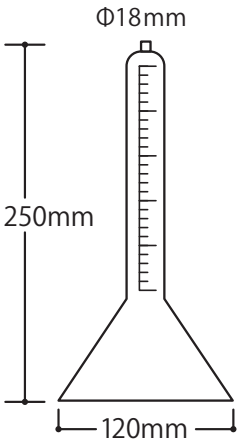
ガス採集硝子管　型式：GS-2

使い方ガイド

「ガス採集硝子管」とは

　水中でサンプル容器を開栓し、**容器内のヘッドスペースのサンプルガスを全て捕集する**ために使用します。通常だと1サンプルではガス量が足りないような、ガス量の少ないサンプルの測定に向いています。
　捕集したガスの総ガス量と残存酸素濃度から、残存酸素量も算出できます。

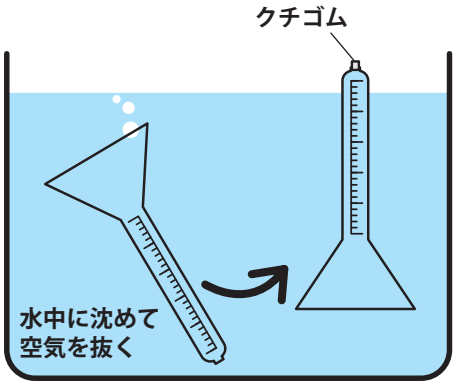
$$\text{残存酸素量(mL)} = \frac{\text{総ガス量(mL)} \times \text{残存酸素濃度}(\%O_2)}{100}$$



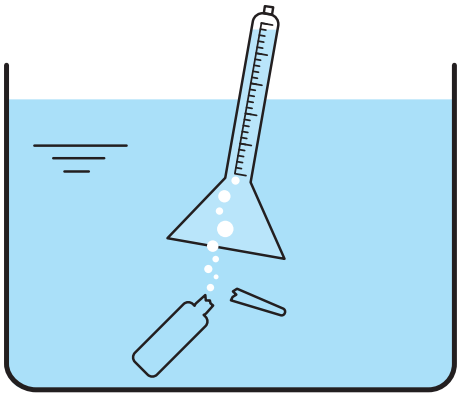
総ガス容量：20mL
最 小 目 盛：0.2mL

※ガラス製品につき多少のサイズ誤差があります。

使い方

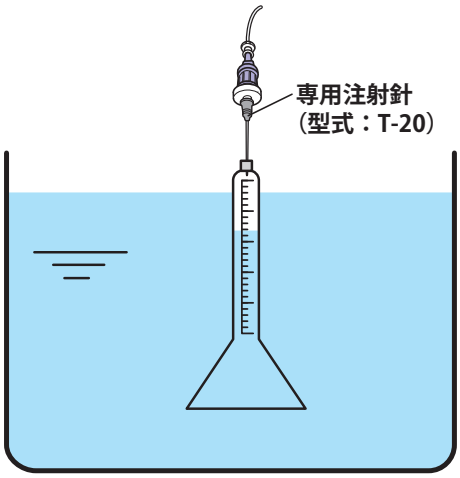


①水を入れた深めの水槽またはバケツを用意し、ガス採集硝子管を水中に沈め、ガス採集硝子管の中の空気を完全に抜きます。



②完全に空気が抜けたら、そのまま水中で、硝子管の先端にクチゴムを取り付けます。

③サンプル容器を水中に沈め、ガス採集硝子管の下に移動し、サンプル容器を開栓します。
サンプルガスが硝子管の外に出ないように注意しながら、全ガスを捕集します。



④専用の注射針を残存酸素計に接続し、クチゴムの上から差し込み、酸素濃度を測定します。
ガスを吸引すると水面が上がってくるため、液面を吸い込まないよう注意しながら測定します。

捕集したガス量が 6mL 程度の場合、自動吸引の操作時に液面を吸引してしまう可能性があるため、「手動測定モード」に切り替えて、手動で調節しながら吸引操作を行います。

＜手動モードでの測定方法＞

①測定待機画面で NEXT を押して手動モードに切り替えます。

②測定待機画面で START (吸引) を長押しします。

押している間のみポンプが動作し、指を離すと止まります。
ポンプが止まると安定判断を開始します。
ピーと鳴り、安定した測定値が表示されたら完了です。